

平成 30(2018) 年度 「授業研究会」「SGH 第 4 年次報告会」の御案内 神戸大学附属中等教育学校

皆様におかれましてはますます御清祥のこととお喜び申し上げます。
さて、本校の「平成 30 年度 授業研究会」及び「スーパーグローバルハイスクール (SGH) 第 4 年次報告会」を下記の通り開催いたします。
本校では「グローバルキャリア人」の育成を教育目標に掲げ、次期学習指導要領の方向性を踏まえた教科教育と汎用的能力論、SGH で取り組む課題研究やグローバル・アクション・プログラム、ユネスコスクールの特徴をいかした ESD の実践等、様々な教育実践活動を行っております。
つきましては多くの皆様に御参会いただき、御指導・御助言を賜りますようよろしくお願いいたします。

平成 30(2018)年 12 月吉日

神戸大学附属中等教育学校
校長 藤田 裕嗣

記

- 1 期 日 平成 31(2019)年 2 月 9 日 (土)
- 2 会 場 神戸大学附属中等教育学校
〒658-0063 神戸市東灘区住吉山手 5-11-1
Tel 078-811-0232 Fax 078-851-9354
URL <http://www.edu.kobe-u.ac.jp/kuss-top/>
- 3 主 催 神戸大学附属学校部 神戸大学附属中等教育学校
- 4 後 援 兵庫県教育委員会 神戸市教育委員会 (申請中)

5 日 程

	8:30	9:15	9:55	10:05	10:55	11:10	12:00	12:00	13:00	13:00	14:30	14:50	16:30
受付	全体会①		休憩・移動	公開授業①	休憩・移動	公開授業②	昼休み		研究協議		休憩・移動	全体会② 14:55~16:10 講演	
				SGH分科会			ポスター発表						

6 内 容

- (1) 全体会① 9:15~ 9:55 於 第 2 アリーナ (体育館 1 階)

授業研究会 テーマ	「グローバルキャリア人としての資質・能力を育成するカリキュラム開発と評価方法の研究ー汎用的能力論と次期学習指導要領の方向性を踏まえてー」
SGH 報告会 テーマ	「地球安全保障への提言を目指す『グローバルキャリア人育成神戸モデル』」

・開会挨拶, 講師紹介, 基調報告など

(2) 公開授業①・SGH分科会 10:05~10:55

授業研究会 公開授業

教科	授業クラス	主題・テーマ	授業紹介	授業者	教室
数学科 【数学Ⅲ】	5-2	問題作成型授業 一次期学習指導 要領を踏まえて	「無限級数」に関わる問題を生徒が 自ら作ります。	大木谷佳昭	5-1
保健体育科 【体育】	5-4, 5	マイ・スポーツ	集団の課題に応じた1時間の授業計 画を考え、実際に1時間の授業を担 当生徒が展開します。	佐藤 聡	体育館 第1アリーナ
道徳	3-2	対話を通して道徳 的価値にせまる	「六千人の命のビザ」を範読し、対話 を通して、生き方について深く考え る授業を目指します。	中時 貴弘	3-2

SGH 分科会

分科会	授業クラス	主題・テーマ	授業紹介	授業者	教室
ESD (社会科公民的分野)	3-1	SDGs と向き合う	SDGs (持続可能な開発目標) の目標 13 (気候変動) を題材に、教科間連 携による授業を展開します。	森田 育志	6-1
国際理解 (公民科現代社会)	4-4	移民と日本	移民問題を題材に、現状や課題につ いて学び、持続可能な社会の構築に ついて討議を行います。	木下 宏史	6-2
Kobeプロジェクト (総合的な学習の時間)	5年	課題研究	研究活動として取り組んだ生徒の調 査・発表活動について生徒自身が紹 介します。	篠原 泰子	選択 教室Ⅲ
実践発表	学年	内容		担当者	教室
グローバル・アクション・ プログラム (GAP)	4・5・6 年	国内 GAP への参加を通して 得た学びについて生徒が発表 します。	被災地研修 (DR3プロジェクト) 模擬国連、臨海実習	石丸 幸勢	6-5
グローバル・アクション・ プログラム (GAP)	4・5年	海外 GAP への参加を通して 得た学びについて生徒が発表 します。	米国ワシントン、ベトナム、台湾高 雄、イギリスロンドン・ケンブリッジ、 カボゴビア	大谷 麻子	6-4
発表・研究協議	テーマなど		指導助言者	担当者	教室
ヘルスプロモーション	大学との連携研究 (2年次) 教科・領域横断的な健康教育の実践 ー保健体育・学校保健・食育ー		加藤佳子 (神戸大学)	長谷川亜紀 酒井 隆子 永野 和美	6-3

(3) 公開授業②

11:10~12:00

授業研究会 公開授業

教科等	授業クラス	主題・テーマ	授業紹介	授業者	教室
国語科 【国語総合】	4-1	主体的な学びと 『見る』力の評価	AmazonのCMビデオを「見る」ことを通して創 作したストーリーを参考に、CM内容を分析し、ヤ ッポウを「書く」授業を実施します。	杉山 浩一	4-1
社会科 【日本史B】	5-34	近世の日本社会	近世日本の社会について、村落や都 市の支配の変化の視点から、時代の 転換をとらえる授業を提案します。	上村 幸	社会科 教室
数学科	1-3	論証	数学的な根拠による説明の技法を学 び、言語活動による思考の深化を目 指します。	中田 雅之	5-1
理科 【生物基礎】	5-5	免疫	生徒が作成した課題について、生徒 たちが話し合い、検討し合う活動 を行います。	植田 好人	5-5
芸術 【美術Ⅰ】	4-34	板締め絞り ーはにぞめー	生活に密接に関わる布をデザインの 視点で考え、自身の作品について発 表しあいます。	柴田美帆子	美術室
技術・家庭科 【家庭分野】	3-2	ライフデザイン ーリスクマネジメント について考えるー	リスクマネジメントについて考え、 小集団で話し合い、発表し、検討し あいます。	金田 理子	被服室
情報科 【情報の科学】	4-2	Society5.0 に向 けた情報教育	サイバー空間とフィジカル空間を融 合した創造的学びを実践します。	米田 貴	第2 情報室

英語科	3-3	‘I Have A Dream’	理解したいという思いを刺激する題材、表現意欲を高める課題に着目し主体的な学びについて考えます。	軽尾 弥々	3-3
道徳	3-1	対話を通して道徳的価値にせまる	「六千人の命のビザ」を教材に、p4cの手法を取り入れて、生徒同士が生き方について深く考える授業を目指します。	若杉 誠	3-1
Kobeプロジェクト (総合的な学習の時間)	2年	探究入門	探究活動として取り組んだ生徒の調査・発表活動について生徒自身が紹介します。	緒方 高士	書道教室

(4) 昼休み・ポスター発表 12:00~13:00

※ポスター発表 (全体会会場 (第2アリーナ))

休憩・昼食場所 (6-2, 6-3, 5-3, 4-2, 4-3, 4-4, 2-1, 2-2, 2-3, 2-4, 1-1, 1-2 各教室)

(5) 研究協議 13:00~14:30

授業研究会 研究協議

教科等	研究テーマ	担当者	指導助言者	教室
国語科	深い学び -協同を通して学びを深める-	川嶋 久予	目黒 強 (神戸大学)	4-1
社会科	社会的な見方・考え方を育む授業実践 -グローバルな時空間認識の育成を通して-	奥村 暁	木村 裕 (滋賀県立大学) 三田耕一郎 (立命館大学)	社会科 教室
数学科	数学的活動を通じた「深い学び」を促す 授業展開の工夫-評価方法について-	大木谷佳昭 中田 雅之	岡部 恭幸 (神戸大学) 長坂 耕作 (神戸大学)	5-1
理科	サイエンスリテラシーの育成を目指した中等 教育6年間のカリキュラムの構築とその実践	安田 和宏	佐藤 春実 (神戸大学)	集会室
芸術科 【美術】	中高一貫教育における美術教育カリキュラム の構築と授業実践	佐々木ひかる	勅使河原君江 (神戸大学)	美術室
保健 体育科	PDSAサイクルを用いたカリキュラム開発 -主体的に学びに向かう力を育む授業づくり-	藤本 佳昭	高田 義弘 (神戸大学)	書道 教室
技術・ 家庭科	リスクマネジメントについて考えるキャリア 学習	金田 理子	井上 真理 (神戸大学)	被服室
情報科	次期学習指導要領「情報Ⅰ」「情報Ⅱ」を見据 えた情報科の授業	米田 貴	伊藤 一成 (青山学院大学) 吉田 葵 (青山学院大学)	第2 情報室
英語科	生徒の表現意欲を高めるパフォーマンス課題 の設定とルーブリック評価の検討	真田 弘和	田中 容子 (京都大学)	3-3
道徳	よりよく生きる -対話を通して学びを深める-	吉田 智也	榊形 公也 (元大阪教育大学/元武庫川女子大学) 渡邊 隆信 (神戸大学)	3-2
Kobeプロジェクト (総合的な学習の時間)	6年一貫Kobeプロジェクトの実践 -汎用的能力育成の要として-	篠原 泰子 緒方 高士	林 創 (神戸大学)	選択 教室Ⅲ

SGH 研究協議

分科会	研究テーマ	担当者	指導助言者	教室
ESD (社会科公民的分野)	SDGs 達成に資する ESD の授業実践	森田 育志 木下 宏史	多田 孝志(金沢学院大学) 山西 優二(早稲田大学)	6-1
国際理解 (公民科現代社会)	国際問題の考察から育む公民的資質			

(6) 全体会② 14:50~16:30 於 第2アリーナ (体育館1階)

講演 14:55~16:10	新しい学習指導要領の方向性-資質・能力育成を目指した授業と評価- 石井 英真氏 (京都大学大学院教育学研究科准教授)
-------------------	---

<講師略歴>兵庫生まれ。京都大学教育学部卒業。教育学博士(京都大学大学院教育学研究科)。京都大学大学院教育学研究科助教、神戸松蔭女子学院大学人間科学部准教授などを経て、現職。専門は、教育方法学：学力論、授業論、教育評価論。日米のカリキュラム研究、授業研究の蓄積に学びながら、学校で保障すべき学力の中身とその形成の方法論について理論的・実践的に研究している。特に、授業を硬直化させるのではなく、むしろ柔軟で創造的なものにするような、目標の明確化とそれに基づく評価のあり方について考えている。文部科学省中央教育審議会初等中等教育分科会教育課程部会児童生徒の学習評価に関するワーキンググループ委員などを歴任。主な著書に『中教審「答申」を読み解く』(単著、日本標準、2017年)、『教師の資質・能力を高める!アクティブ・ラーニングを超えていく「研究する」教師へ』(編著、日本標準、2017年)などがある。

【受付（参加申込）について】

- ・事前の参加申し込みを行っております。ホームページより申込手続きをお願いいたします。
（当日の申し込みも可能ですが、できる限り事前申込をお願いいたします。）
（本校ホームページ <http://www.edu.kobe-u.ac.jp/kuss-top/> より
申込フォーム（12月上旬までに掲載予定）をダウンロードし、メールにてお申し込みください。）
- ・弁当（お茶付き）の事前予約による販売（1,000円、当日の支払い）を行っております。
御希望の場合は、ホームページの予約フォームでお申し込みください。
- ・学内は下足のまま移動できます。上靴の御準備は必要ありません。
- ・お車での来校は御遠慮ください。
- ・荒天時・学級閉鎖時などの対応についてはホームページにて御確認ください。
- ・御不明な点がございましたら、本校研究部までお問い合わせください。

〔問合せ先〕 Tel ダイヤルイン 078-811-0237(内線 65) 研究部・グローバル教育推進室 岩見

■交通のご案内

駅からのアクセス

阪急御影駅から徒歩約 20 分

阪急御影駅から神戸市バス 19 系統・39 系統で約 15 分

J R 住吉駅から神戸市バス 39 系統で約 20 分

阪神御影駅から神戸市バス 19 系統で約 20 分、39 系統で約 30 分

在来線

<大阪方面からお越しの場合>

阪急梅田駅→（特急約 12 分）→西宮北口駅→（普通約 10 分）→阪急御影駅

J R 大阪駅→（快速約 20 分）→J R 住吉駅

<三宮方面からお越しの場合>

阪急神戸三宮駅→（普通約 10 分）→阪急御影駅

J R 三ノ宮駅 →（快速約 8 分）→J R 住吉駅

新幹線

新神戸駅→(神戸市営地下鉄)→神戸三宮駅→(阪急線)→阪急御影

飛行機

神戸空港 →(ポートライナー)→神戸三宮駅→(阪急線)→阪急御影駅

大阪伊丹空港→(大阪モノレール)→阪急蛍池駅→(阪急線・十三経由)→阪急御影駅

